

なかよし

天童中部小学校

いちょう学級だより

R5.2.20

No. 31

「与える者は与えられる」の法則



いちょう一組の教室の隣には「みんなのこくばん」があります。これは黒板を使って目いっぱいお絵かきすることができる天童中部小学校の人気スポットです。今回はこの黒板であったエピソードを紹介します。

ある朝いちょう一組の A 君が私に駆け寄り、「先生、この黒板っていつも汚いよね？」と言

いました。目を向けると、乱雑に置かれたチョーク、散乱している粉がありました。確かに「みんなのこくばん」は人気があり、片づけられていないことがしばしばあります。A 君はしばらくその場を眺めた後、黙々とチョークを片付け始めました。感心して様子を見てみると、通りがかった B さん C さん D 君も掃除を手伝いはじめました。「私たちは絵を消すね！」「俺はチョークを並べるよ。いっぱい色があって難しいな・・・」「ありがとう。じゃあ粉を片付けるね！」4 人は協力して掃除を完了させました。その頑張りは朝の会で紹介され、彼らはクラスの全員から拍手を受けていました。A 君は照れながらも達成感に満ちた表情をしていました。

私はふと「与える者は与えられる」の法則を思い出しました。これは見返りを求めずに「与えよう」「人の役にたとう」という思いで行動する人のところに自然と色々なものが勝手に集まってくる、というものです。今回は「みんなのこくばん」を掃除して役に立とうとした A 君の周りに 3 人の友達と、みんなからの感謝が集まりました。自然とこの行動を起こせることは非常に価値があるものだと思います。A 君から生活の中で大切なことを教わりました。この先も「与える者」としてもっと大きな幸せを掴む人に成長してほしいです。

